

## 公益財団法人辻静雄食文化財団 第4期「次世代リーダーシェフ育成奨学金」給付 進路調査実施／奨学金は「進学先の学費」などに活用

食分野の教育と研究に生涯を捧げた辻調グループ創設者・辻静雄の志を受け継ぎ、2015年に設立した「辻静雄食文化財団」では、事業活動の一環として、今年度も全国の高校2年生を対象に、「次世代リーダーシェフ育成奨学金」を給付いたします。この奨学金制度は将来、調理や製菓の職業に就き、食の業界で活躍することを目指し、高等学校卒業後の進路として調理系又は製菓系分野への進学を志望している生徒を支援し、食文化の発展に寄与する人材の育成を目的としています。このたび、厳正な選考を経て、2018年度(第4期)の奨学生として30名の高校2年生を採用いたしました。

今春、高等学校を卒業する「第3期奨学生」に対して進路調査を実施したところ、有効回答23名のうち、食分野へ進んだ学生は22名(食分野の大学・専門学校への進学19名、就職3名)で、食の業界で活躍することを目指して着実に前進していることがうかがえました。奨学金の用途については、「進学先の学費に充てる」と回答した人が最も多く、その他には調理・製菓器具や専門書の購入や高等学校でのクラブ活動資金、新生活に必要な物の購入などがありました。さらに自身が描く将来像をかなえるために、今後取り組みたい内容については、「製菓の技術や知識だけでなく、フランス語の勉強にも取り組み、パティシエとしての視野を広く持ちたい。」「栄養士の資格を取得して学校の先生になりたいので、進学先では教える立場を意識しながら知識の幅を広げ、技術を向上させたい。」などの回答がありました。今後も彼らの活躍に注目しながら、「次世代リーダーシェフ育成奨学金」制度が、飲食業界を担う次世代の人材育成や業界全体のさらなる発展に貢献できるよう、進めて参ります。

### 「次世代リーダーシェフ育成奨学金」制度概要

【給付額】 1人25万円(返還の義務なし)

【給付人数】 30名以内

【給付方法】 原則2年次の一括支給

#### 【奨学生選考委員】

北山 良平 (株式会社阪急阪神ホテルズ)

石井 英美 (パティスリー「アディクト オ シュクル」)

松岡 曜子 (三重県立相可高等学校)

吉村 典久 (奈良県立五條高等学校)

中村 和雄 (辻静雄食文化財団 事務局)

棟方 浩一 (辻静雄食文化財団 事務局)

※募集の詳細につきましては、公式サイトをご覧ください。

<https://tsujishizuoka.or.jp/scholarship/>